

会議録（会議要旨）

会議名	第10回武蔵村山市内循環バス検討協議会
開催日時	平成20年5月14日（水） 午後3時00分から午後4時30分まで
開催場所	301会議室
出席者及び欠席者	<p>（出席者）</p> <p>委員：加藤 敬成（小椋氏の代理人）、佐藤 達雄、国田 正徳、斉藤 静子、茂野 宏美、高橋 薫、高橋 哲、中島 謙一、樋口 豊子、藤井 敬宏、副市長（敬称略）</p> <p>オブザーバー：立川バス㈱</p> <p>事務局：企画財務部長、企画政策課長、樋口 雅秀</p> <p>（欠席者）</p> <p>委員：金井 治夫、比留間 勉、大井 英明（敬称略）</p>
議題	<p>1 報告事項</p> <p>（1）第9回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>2 議題</p> <p>（1）市内循環バスのあり方について</p> <p>（2）その他</p>
結論	<p>報告事項</p> <p>（1） 第9回検討協議会の会議結果については報告のとおり決定した。</p> <p>議題</p> <p>（2） 第11回会議については、6月26日（木）午後3時からに変更し、第12回会議については、7月24日（木）午後1時30分から決定した。</p>
審議経過 （ は会長、副会長委員、 は事務局、 はオブザーバー）	<p>報告事項1 第9回市内循環バス検討協議会の会議結果について</p> <p>事務局から「第9回市内循環バス検討協議会の会議結果」について説明。 修正の意見がなかったことから、報告のとおり決定としたいと思う。</p> <p>議題1 市内循環バスのあり方について</p> <p>運賃については、1コイン、2コインといったものはどうか。 距離に比例している運賃表は路線バスと比較してどうなのか。 基本的には一緒の体系であるが、コミュニティ的なものでもあるので、循環バスの方が若干少なめになっていると思う。 千葉は150円バスを運行しているところもある。 市民の声が多いのは、もっと安ければというものである。最低運賃の170円均一で運行できないものかと思っている。この方が利用者は増えると思う。民間バス会社との協議も必要となるが。 決算書を見たが、赤字分を乗車運賃で賄うとすると、現在の倍の運賃が必要となる。</p>

運賃を統一するのはいいと思うが、割引制度を廃止すべきと思う。

少くも運賃が高いのはしょうがないのでは、バスを運行していること自体がサービスであると思う。

資料のバス停位置であるが、循環バスと路線バスが重複して走っているところもある。均一運賃とすると、異種運賃となってしまうことから、立川バスとしてはダメージが大きいと思う。

設定されたルートの中で重複があると、均一運賃はむずかしいのでは。

路線バスと競合するところは立川バスと同じ運賃体系の方がいいと思う。その上で独自の運賃が設定できればと思う。

通勤時のルートは休祭日はどうするのか。例外的な人以外は利用しないと思う。

今は平日と比較すると、土日は運行本数を少なくしている。

数人しか利用者がいないのに、走ってしょうがない。例外的な人を見ているときりが無いため、通勤時ルートは平日に運行するとした方がよい。

西循環は乗り継ぎをベースとしている。行き着く目的が路線バスと違っているので、均一という運用もできるのではと思っている。乗り換えた場合は無料とするなどの話もある。利便性からすると使いやすくなっている部分と使いにくくなっている部分もある。

市民のためのバスでもあるので、市民のためのコミュニティバスであれば、均一でもいいのでは。

都心地域は均一を行っている。1回のトリップが短いので均一がやりやすい。地方はトリップが長いので均一はやりにくい。

他市は市域の中にある駅を結んでいるが、本市は長距離を送らなければならないので、均一の難しさはある。

路線バスとの競合で、均一にすることにより路線バスのダメージがあるということを知りたい。

コミュニティバスにより、路線バスが撤退したということも実際にある。

バス事業者が撤退してしまったら、交通空白地域は市が埋めるということとなるため、大変な負担となってしまう。

通勤時は対キロにし、その他は色々なところを回るので、時間がかかる分、安くするということも考えられる。

色々なメニューがあるなかで、その辺りの難しさがある。

都営バスが走っているが、都は昔、廃止するという話があったが、過疎地であるため、運動を行い運行することとなった経緯がある。現在、交通局が1/3、都が1/3、市が1/3ということで負担している。また、多くの人を利用した方が多くの負担をすることとなっている。これは受益者負担の考え方である。また、青梅市は単独で負担している。市内に駅があれば1コインも可能であると思うが、公共施設の結節についてがメインであることから、駅に行くには距離がある。路線バスを運行している立川バスが赤字になってくると市が負担しなければいけないということにもなる。

運賃が安ければ人がのる。多くの市民に利用してもらおう方法を考えなければいけないので、それなりに運賃を抑えなければいけない。

路線バスがどの程度の影響を受けるのかを知りたい。判断する材料があれば示していただきたい。

上北台ルートはかなり競合していることから、どの程度の影響が出るのかを社に持ち帰って検討する。

どこの市も赤字であることから苦しんでいる。印西市ではコミュニティバスの利用率が上がっている。朝に子供を無料で開放した経緯がある。いかにどう使うかということを知ってもらう必要がある。

アンケートでもバス路線等を調べるのが面倒であるという生活習慣がわかった。色々な情報を市民に与えることが必要である。

運賃が下がった分を市が財政負担しているということを知ってもらう必要がある。コミュニティバスの利用の問題をいかに広く市民に知らせるかということが第一ステップとなる。

他の市もどこも財政負担はある。100円でやっているところも100円でいいのかという話も出ている。

運賃を下げずに今のままだんばって、利用促進をした方がいいのではと思う。

日中と通勤の走行距離が違ってくるので、その辺りも整理しておいた方がよい。

市内にも循環バスを知らない人がいると思うので、QRコードをしつこく入れるなどした方がよい。

今回はバスルートを運行した後が大事であることから、事後調査をして、サービス改善できることを第一ステップとし、利用客が見込める状況があれば、次に運賃の均一化をするといったことが考えられる。

イオンモールや温泉、体育館などを中心に回っているということを考えるとその収益との兼ね合いも見ていくとトータルで全市民が均等に利益を受けられるということが必要ではないか。

武蔵砂川駅への乗り入れについて、武蔵砂川駅の南側にある立川市のくるりんバスの停留所を利用したほうがいいのではないか。

立川バスに武蔵砂川駅の北口にある駐車場が利用できないか検討してもらっているところである。また、ここが使えなければくるりんバスの停留所を利用させてもらうなどの方策を考える。

アンケート調査を見ると、買い物利用が多いので、民間企業とのタイアップでキャッシュバックシステムが活用できないかなど、色々努力していかないといけない。

立川バスには、定額にした場合についての影響を調べていただきたい。

定額と対キロ制のメリット、デメリットも整理してもらいたい。

乗り継ぎについては、1回無料とすると、例えば、西循環を1コインとした場合、武蔵砂川からイオンモールで乗り継ぎ体育館まで行くとした場合、行きは170円で帰りは100円ということになってしまい矛盾が出てきてしまう。その辺りの検討も必要である。

バス停はどのくらいの距離で必要か。

市と会社で見てもらって、やってもらった方がいいと思う。沿線の利用状況を見て、安全第一でバス停が置けそうか、利用客が見込めそうかを検討してもらいたい。

東大和市からの要望については、可能であれば実現させていただきたい。

バスのプラスアルファの負担がなければいいと思う。

現在のダイヤに影響が出てしまう中では行ってはダメである。プラスアルファで出来れば問題ない。

大丈夫であると思っている。

地図だけを見ると芋窪折返し場までは近い。中藤などは便利になる。

上北台からダイヤを引いてみないとわからないが、5本ないし6本ぐらいは運行できていると思っている。

乗務員さんの交代のためのものであるので、時間のばらつきが出る。

路線がないところにプラスするというイメージがある。隣の市は100円なので運賃はどうするのかと思う。財政的なものは両市で検討する必要がある。

回送バスと通常バスとの運賃は一本化した方がいい。市民感情もあるので。

両市で検討してもらいたい。

他市はもう少し小さい車を使っている。今後、買い換える際には、小さいものにしてほしいのではと思う。

京都の調査によると、大型から小型に乗り換えると総トータルで8%下がるとされている。

市が抱えているバスの償却年数を考えて切り替えるなど、トータル的に考えてもらいたい。

デエダラまつりの時は満員だった。何かイベントがあるときは臨時バスを運行すればいいと思う。

利用の仕方を考えながら、ある程度、臨機応変にしていけないといけない。

今後、利便性の向上などの利用者拡大方策も考えていきたい。各市の利用増の取り組み例を示していただきたい。

どういうサービス策ができるのか等について、情報提供してもらい、議論を展開するなかで検討していきたい。

参考までに、ルート案で比較したところ、日中時で106点、通勤時で88点という結果となった。ポイントが下がらなかったことから市民サービスの観点からよくなったと考えられる。

その他（次回協議会開催日程）

次回の開催は、6月26日（木）午後1時30分からに決定していたが、同日の午後3時からに変更することとした。また、第12回の会議を7月24日（木）午後1時30分から開催することに決定した。

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者： <u>1</u> 人
	<input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	

会議の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示	
	<input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令：)	

庶務担当課	企画財務部 企画政策課 (内線 374)
-------	----------------------